

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ペガサスこどもデイセンター福泉		
○保護者評価実施期間	2024年9月1日		～ 2024年10月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	2024年9月1日		～ 2024年10月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2024年10月23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	重症心身障害児を受け入れるにあたり質の高い医療ケアを提供できる看護師を配置している。また療育の部分では保育士を専門職としては理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・公認心理士が利用者のニーズに応じて対応できる体制をとっている。	支援提供に当たり利用児それぞれの特性に合ったものが提供できるよう専門職が評価をし関わる職員が情報共有し支援提供する	
2	利用児の一部が通うペガサス福泉中央こども園が同じ建て棟でつながっていて連携ができています	利用児の成長発達を支援するにあたり情報共有をすることで同じ目標に向かって進めていくことができる	
3	同一グループ内に児童発達支援・放課後等デイサービスの事業所として3事業所を有するので円滑な受け入れ調整を行えている	複数事業所で担当する場合は情報共有や希望日の調整を行うことで希望に合ったサービス提供ができる	

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	デイサービスでの様子の情報発信		連絡ノートや送迎時に利用児のデイサービスでの様子を報告しているが画像や動画等での情報共有をすることで分かりやすく伝えていきたい。SNS等の活用
2	当事業所の中での保護者間での交流はない	保護者会などの開催もなく個々に繋がりは多少あるが発達状況や年齢も異なるので交流は難しい状況	
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ヘガサスこどもデイセンター福泉

公表日 2024年10月25日

利用児童数 2024年 9月 30日 14名

回収数 10名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8			2		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	6	1		2		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8			2		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	7	1		1		
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9			1		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9			1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	10					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8			2	・まだ3回しか利用していないのでわからない	個別支援計画をもとにご利用児、保護者に説明をし必要な支援をすすめる
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9			1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	7	1		2		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	6		1	3		
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9		1			
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	1	1	6	・あまり聞いたことがない	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	9	1				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8			2	・面談はないが送迎時に助言をもらっている	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8			2		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1		4	5	・他の利用者の家族との関わりは全くない ・イベント等もないので会うことがない	
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8	1		1	・急なお願いを聞き入れて対応してくださり助かっている	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10				
	21	定期的な通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	2	1		7	・ホームページSNS等あること知らない ・保護者には送迎時に報告を行っている。今後はホームページやSNSを活用していきたい
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8	1		1	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4	1		5	わからない
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3			7	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7			3	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9			1	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	8			2	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	8			2	・発語がないため楽しみにしているかわからないが泣いていないので楽しく過ごしていると思う
	29	事業所の支援に満足していますか。	9			1	・大満足です

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	ペガサスこどもデイセンター福泉			公表日	2024年10月25日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	2	事業所内に個室の相談室や医務室を備えています。指導訓練室はワンフロアで全体を見渡すことができます。	医療度の高い利用児と活動性の高い利用児が混在しているのでフロアを分けて使用する必要がある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	2	医療度の高い利用児への十分な対応ができるよう看護師を配置している。児童発達支援に携わる専門職を配置している。	医療度の高い利用児や見守りが外せない利用児が重複した場合に対応に工夫が必要。リスク管理の徹底。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	施設内はバリアフリーとなっている。また廊下に手すりの設置、歩行補助物品も備えている。こども園が併設されている。	活動スペースと静養スペースの分離が必要。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	毎日終業時清掃を行っている。	活動に合わせた空間作りで工夫の余地がある
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	個別でのワークの実施や静養目的での個室での対応ができる	個室が2部屋あるので更に活用できるよう工夫が必要
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	2	業務改善が必要な事項に関してPDCAサイクルの手法を用い共通理解のもと取り組んでいます	定期的な振り返りが必要
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	2	保護者向け評価を実施し、意見に対し検討し業務改善につなげている	継続して定期的実施する
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	個別、全体と面談を定期的に行い意見を検討し業務改善につなげている	継続して定期的実施する
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	5		今後機会があれば評価を受ける
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	法人内研修や児童発達支援、障害福祉にかかわる研修など熟考する機会が多くあり、また研修を開催する機会も確保されている	オンラインでの研修受講などの機会を増やす
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0	モニタリングを定期的に行いニーズの確認をもとに計画を作成	保護者のニーズに関してはさらに掘り下げて確認していくようにする
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	必ず利用児についてのカンファレンスを行い計画を作成	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	2		更に様々な観点からこどもの適応行動の状況を確認するようにする
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	2	チームで話し合い立案している	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	1	定期的なカンファレンスを実施	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	3	2		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1	就業前に必ず打ち合わせを実施 情報共有のため連絡ノートを利用している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	情報共有のため連絡ノートを利用している 就業前の打ち合わせにて前日の情報共有を実施	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	変化があれば必ずカンファレンスを実施	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	事業所がこども園と併設しているので情報共有と相互理解が図りやすい	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1	放課後等デイサービスへの移行、保育所等訪問支援などの支援内容の引継ぎを実施している	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0	5	ケースを通じて連携を図ることや交流会に参加している	地域の児童発達センターとの連携を更に図る必要がある
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	0			
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	送迎時に児の状況を共有できるよう時間をとるようにしている		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1	堺市の案内など情報提供は行っている		
保	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0	計画を確認してもらい同意を得るようにしている	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	1	時間を置くことなくその都度応じるようにしている	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	1		父母の会や保護者会等の交流の機会はなく個別での支援となっている
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	1		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0		定期的な通信を徹底する
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	個人情報保護を徹底	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	状況に応じ個別で対応している	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	1		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	マニュアルの周知、いつでも閲覧できるようにしている	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	併設の子ども園と合同で訓練を実施	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	0	医師の指示の確認の徹底	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	利用時に必ず確認	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0		
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0			